

# 母子避難家庭に 保育料助成開始

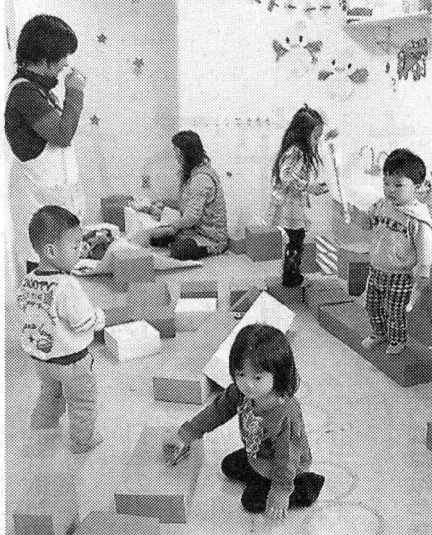
認定NPO

山形市の認定NPO法人IVYは、原発事故などで福島県から山形県内に母子で避難している家庭に保育料の助成を始める。二重生活で経済的負担が大きいことから、母親の就労を支援するのが目的だ。米国の支援団体「インターナショナル・メディカル・コープス」が約800万円の資金をIVYに提供した。

対象は、子どもを保育園や幼稚園に預け(一時預かりは対象外)、母親が就労(目安は月60時間以上)または就職活動をしている家庭。どこからも保育料の助成を受けていないことが条

件で、11月から来年4月までの最長6カ月、月額保育料の半額(上限2万5千円)を助成する。

IVYが山形市小白川町1丁目に今秋開園した避難家庭のための「あいびい保育園」の利用者は対象外とする一方、同園は11月から保育料を一律月額1万円(昼食代、おやつ代、保険料金も含む)に値下げする。これまでは「3歳未満」2万5千円、「3〜6歳」2万3千円、「2人目〜」1万5千円としていた。いずれも問い合わせはIVY(023・634・9830)へ。



IVYが運営する「あいびい保育園」。今月から保育料を値下げする＝山形市小白川町1丁目